▼乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒・▼アルミゲル細粒99%　［内］

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】　【一般製剤名】乾燥水酸化アルミニウムゲル　Dried Aluminum Hydroxide Gel　【分類】制酸剤

【単位】▼g

【常用量】1～3g/日

【用法】分3～4

【透析患者への投与方法】禁忌［長期投与によりアルミニウム脳症，骨症，貧血があらわれることがある］(1)

【保存期CKD患者への投与方法】長期投与によりアルミニウム脳症，骨症，貧血があらわれることがあるため慎重投与［定期的に血中アルミニウム，リン，カルシウム，アルカリフォスファターゼ等の測定を行うこと］(1)

【特徴】過剰の酸を中和。CO2 を発生しないので二次的な酸分泌を起こさない。ゲル状になって胃内に分散し、広範な吸着面を作って多量の胃酸を中和し、長期にわたり潰瘍面を保護する

【主な副作用・毒性】便秘，悪心・嘔吐，アルミニウムによる毒性

【安全性に関する情報】骨に蓄積する（1）

【吸収】食事中のアルミニウム吸収率は 0.14%であるが，薬剤による吸収率はその 1/10 以下である（飯塚 舜介: アルミニウムの吸収・代謝・排泄に関する研究 https://kaken.nii.ac.jp/d/p/06807035.ja.html）

【F】微量が吸収（1）

【排泄】腸排泄．アルミニウムは吸収されて腎排泄される（1）【CL】5.5±3.5mL/min（1）

【t1/2】8hr（飯塚 舜介: アルミニウムの吸収・代謝・排泄に関する研究 https://kaken.nii.ac.jp/d/p/06807035.ja.html）

【蛋白結合率】Al の蛋白結合率は 80%（Stummvoll HK et al: Miner Electrolyte Metab 10: 263-6, 1984）80～90%（1）

【Vd】資料なし（1）BBB を通過するがその量は不明（1）

【MW】78.00

【透析性】組織移行したアルミニウムの除去は困難（5）デフェロキサミン投与後に除去できる（1）

【相互作用】テトラサイクリン，ニューキノロンとキレート結合し吸収阻害を起こすため併用する際には本剤を食間服用，他剤を食後服用すること（1）クエン酸製剤，ミコフェノール酸モフェチル，レボチロキシン，ペニシラミンなどの吸収率低下（1）クエン酸製剤はアルミニウムの消化管吸収を増加（1）

【更新日】20221019

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。